

市議会だより

発行
各務原市議会

岐阜県各務原市和加楼町1-69
電話058-383-2001

編集
市議会だより編集委員会

かかみがはら



③ 月 定 例 会

目 次

正・副議長など決まる	2	水道料金値下げへ	8
新年度予算	4	道路の渋滞解消	9
審議結果	6	「家族の価値」再復興とは	10
市政を問う 一般質問		人づくり	11
19年度の重点施策	7	市民の声、議会素描	12

議長に古田澄信氏

副議長に三丸文也氏

監査委員は角弘二氏

総務常任委員会



副委員長 神谷卓男



委員長 長縄博光



委員 太田松次



委員 三和由紀



委員 藤井国雄



委員 関浩司



議長 古田澄信



副議長 三丸文也



監査委員 角弘二

民生消防常任委員会



副委員長 高島貴美子



委員長 川島勝弘



委員 三丸文也



委員 浅野健司



委員 波多野こうめ



委員 小島軍司



委員 阿部靖弘

平成19年第1回各務原市議会定例会は、2月26日から3月26日までの29日間の会期で開催しました。初日の2月26日には、正副議長の選挙、議会運営委員と4常任委員の選任及び正副委員長の互選を行いました。

去る2月26日、藤井国雄議長・古田澄信副議長から辞職願が提出されたため、選挙を行った結果、古田澄信副議長が議長に、三丸文也議員が副議長に当選しました。

また、議会運営委員、常任委員の任期(1年)満了により、委員の選任と正副委員長長の互選を行いました。

最終日には、太田松次議員が議会選出の監査委員を辞職したことにより、その後任に角弘二議員を選任する議案が市長から提出され、全会一致で同意しました。

経済教育常任委員会



副委員長 梅田利昭



委員長 吉岡健



委員 末松誠栄



委員 今尾泰造



委員 尾関光政



委員 白木博



委員 横山隆一郎

建設水道常任委員会



副委員長 横山富士雄



委員長 平松幹正



委員 角弘二



委員 川瀬勝秀



委員 永治明子



委員 中村幸二



委員 古田澄信

本市議会では、4つの常任委員会を設置しており、議員は1つの常任委員会に所属することになっています。各常任委員会は、行政組織に基づき分担して様々な行政課題を審議しています。

各常任委員会の担当事項並びに正副委員長、委員は次のとおりです。

(◎委員長○副委員長)

総務常任委員会

行財政、市税、自治会、契約、戸籍事務、選挙などの分野を審議しています。

◎長縄博光○神谷卓男、三和由紀、太田松次、関浩司、藤井国雄

民生消防常任委員会

福祉、健康、子育て、介護、ごみ、し尿、環境保全、消防などの分野を審議しています。

経済教育常任委員会

◎川島勝弘○高島貴美子、波多野こうめ、浅野健司、三丸文也、阿部靖弘、小島軍司

商工振興、観光、都市交流、農業振興、農業委員会、学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの分野を審議しています。

建設水道常任委員会

都市計画、道路、公園、建築指導、市営住宅、上下水道などの分野を審議しています。

◎平松幹正○横山富士雄、永治明子、川瀬勝秀、角弘二、古田澄信、中村幸二

議会運営委員会

議会運営、議会の会期、会議規則、委員会条例の改正、議長の諮問に関する

ることなどを審議しています。

◎小島軍司○太田松次、浅野健司、川瀬勝秀、尾関光政、神谷卓男、今尾泰造、関浩司、川島勝弘

市議会だより編集委員会

年に4回発行する市議会だよりの編集を担当しています。

◎横山富士雄○梅田利昭、永治明子、吉岡健、尾関光政、三和由紀

19年度
一般会計予算395億1,000万円を可決
美しい都市 各務原へ
「家族の価値」再復興など8つの柱で

今期定例会に市長から提出された議案は、平成19年度の一般会計、特別会計、水道企業会計を初めとする46議案で、常任委員会、本会議審議を経て、いずれも原案のとおり可決、同意しました。

今期定例会に市長から提出された議案は、

主な議案内容は次のとおりです。

- 19年度予算 6件
 - 18年度予算の補正 5件
 - 人事の案件 2件
 - 条例の制定・改正 23件
 - 一部事務組合の規約の変更 3件
 - 指定管理者の指定 1件
 - 指定管理者の指定の変更 1件
 - 工事請負契約の締結 2件
 - 土地の取得 1件
 - 市道路線の認定 2件
- の合計46案件です。

予算編成方針

19年度予算は、「独立都市各務原市の競争力の強化」、「さらなる財力の充実」をスローガンとし、「美しい都市各務原へ」を実現させるため、「家族の価値再復興」、「コミュニティ、地域力の維持向上」、「良い教育、人づくり都市」、「美しい生活環境、都市風景へ」、「都市の中の自

然」、「歴史の未来への継承」、「都市の文化、文化力の底上げ」、「全市民健康増進運動」の8つを柱として予算編成をしています。

また、新総合計画及び新市建設計画に位置付けられている事業を積極的に推進するため、歳入歳出ともに聖域なき見直しを行っています。

このような方針に基づき編成した19年度の予算規模は、

一般会計

395億1,000万円
国民健康保険特別会計

132億6,363万円



那加メインロード

老人保健特別会計

93億6,611万2千円

介護保険特別会計

65億5,602万7千円

下水道事業特別会計

42億7,354万6千円

水道事業会計

43億692万9千円

となっています。

18年度当初予算と比較すると、一般会計は

3・1%の増となっており、国、地方ともに厳しい財政状況の中で、16年

度から4年連続の積極型予算となっています。中

でも未来への基盤投資である普通建設事業費は、

2・5%の増となっています。

また、18年度へ前倒した事業分を含めると、実質的な予算規模は、一般会計で3・9%の増となっています。

歳入の主なもの

○市税

7億6,709万7千円

○地方交付税減額

2億5,340万5千円

○財産収入

1億3,387万2千円

○繰越金

4億4,991万9千円

○市債減額

9,590万円

歳出の主なもの

○後期高齢者医療システム開発事業費

5,500万円

○市民農園施設整備事業費

2億2,359万3千円

○市単道路改良事業費

2億2,289万8千円

○緑化保全事業費

2億7,067万5千円

○小学校校舎耐震補強事

業費

業費

2億3,764万円
などを計上しています。
この結果、一般会計の
予算規模は、1億5,5
65万6千円を追加し、
補正後の予算総額は
405億7,088万3
千円となります。

公平委員会委員の選任

公平委員会委員川島英
司氏の任期が3月31日に
満了するため、その後任
に松岡務氏(那加前洞新
町)を選任しようとする
ものです。

市営墓地条例の一部改正

墓地の使用料の額を
1㎡当たり「10万円」を
「20万円」に改めること
と、使用者に対して管理
料として年間2,000
円を徴収するものです。

下水道条例の一部改正

公共下水道の使用料の
額を改めるもので、平均
改定率11.79%、ひと月
に25㎡(一般標準世帯)

排除する世帯で、263
円の引き上げとなりま
す。

実施時期は、19年7月
分からとなります。

なお、新料金の算定期
間は、19年度から23年度
の5年間です。

水道事業給水条例の一部改正

水道料金の額を改める
もので、平均改定率マイ
ナス4.60%、13mm管で
ひと月に25㎡(一般標準
世帯)使用する世帯で、
183円の値下げになり
ます。

実施時期は、19年7月
分からとなります。

なお、新料金の算定期
間は、19年度から23年度
の5年間です。

川島地区は、20年度に
各務原地区に統一するた
め、現在、是正措置期間
中であり、今回の値下げ
実施後も各務原地区の料
金水準に達しないため、
改定は実施されません。

工事請負契約の締結

学校給食センター建設
工事の建築工事を一般競

争入札の結果に基づき、
4億897万5千円で市
川・天龍特定建設工事共
同体と工事請負契約を締
結するものです。

また、学校給食センター
建設工事の機械工事を一般
競争入札の結果に基づき、
2億4,118万5千円
で川崎・丸共特定建設工
事共同体と工事請負契約
を締結するものです。



学校給食センター完成予想図

指定管理者の指定

市民公園北、総合福祉
会館、産業文化センター
の公共駐車場の管理運営
について、(株)日本メカ
トロニクスを指定管理
者に指定するものです。

19年度の

主な新規事業

ウエストサイズストーリー事業

メタボリックシンド

ロームの改善を目的に形
態測定、食事・運動・生
活指導を行う。

妊婦一般健康診査事業

助成回数を2回から5
回に拡大する。

こんには赤ちゃん訪問事業

子育て世帯を訪問し、
育児の相談や支援を行う。

産業振興ビジョン策定事業

経済・産業の目指すべ
き姿を示し、企業・市民・
行政が協働して取り組む
ビジョンを策定する。

環境基本計画策定事業

市民プランを取り入れ
た環境政策の基本計画を
策定する。

那加メインロード再整備事業

再整備のための測量調
査設計を行う。

旧鵜沼宿まちづくり事業

(仮称) 中山道鵜沼宿町
屋整備、景観重要建造物
保存助成などを行う。

都市公園整備事業

河跡湖公園、学びの森、

鵜沼古市場公園などを整
備する。

(仮称) 山の前広場公園整備事業

スポーツ広場東の国有
農地を取得し、テニスコ
ートを整備する。

学校給食センター建設事業

老朽化に伴い、おがせ
テニスコート跡地に新た
に建設する。

教育国際シンポジウム開催事業

海外の教育関連機関(9
カ国参加予定)と教育課
題について協議し、教育
の活性化と充実を図る。

家族・地域・絆プロジェクト事業

「家族の価値」再復興の
ための事業、食育、しつ
け、地域力推進などをテ
マに調査研究を行う。

証明書自動交付機・サテライトコーナー設置事業

アピタ各務原店・イオン
各務原店に証明書自動交
付機を設置し、イオン各
務原店には市の情報コー
ナーも設置して、市政情

報の配信を行う。

審議結果 3月定例会

19年度一般会計予算	原案可決・賛成多数	公害対策審議会条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
19年度国民健康保険事業特別会計予算	原案可決・全会一致	市営墓地条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
19年度老人保健特別会計予算	原案可決・全会一致	文化会館条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
19年度介護保険事業特別会計予算	原案可決・賛成多数	市立学校設置条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
19年度下水道事業特別会計予算	原案可決・賛成多数	道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
19年度下水道事業会計予算	原案可決・全会一致	都市景観条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
18年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決・賛成多数	市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
18年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決・賛成多数	手数料条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
18年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決・全会一致	下水道条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
18年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決・全会一致	水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
18年度下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決・全会一致	岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更	原案可決・全会一致
公平委員会委員の選任(松岡務氏)	原案同意・全会一致	岐阜県市町村会館組合規約の変更	原案可決・全会一致
職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数	木曽川右岸地帯水防事務組合規約の変更	原案可決・全会一致
非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致	公の施設の指定管理者の指定の変更	原案可決・全会一致
常勤の特別職職員の給与に関する条例	原案可決・全会一致	市道路線の認定(市道川1375号線ほか1路線)	原案可決・全会一致
条例等の一部を改正する条例	原案可決・全会一致	市道路線の認定(市道川1375号線ほか1路線)	原案可決・全会一致
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致	工事請負契約の締結	原案同意・全会一致
副市長定数条例	原案可決・全会一致	(学校給食センター建設工事(建築))	原案同意・全会一致
総合福祉会館条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致	工事請負契約の締結	原案同意・全会一致
福祉の里条例	原案可決・賛成多数	(学校給食センター建設工事(機械))	原案同意・全会一致
川島健康福祉センター条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数	公の施設の指定管理者の指定	原案可決・賛成多数
障害者施策推進協議会条例	原案可決・賛成多数	(市民公園北駐車場ほか2施設)	原案可決・賛成多数
健やか手当金支給条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致	国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数
保育所の設置および管理に関する条例	原案可決・全会一致	土地の取得について(都市緑地用地)	原案可決・賛成多数
一部を改正する条例	原案可決・全会一致	監査委員の選任(角弘二氏)	原案同意・全会一致
廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決・賛成多数	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙(森真市長)	当選
		議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
		議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決・全会一致
		議会事務局設置条例の一部を改正する条例	原案可決・全会一致
		小学校卒業まで医療費の無料化を求める請願	継続審査



改築予定の蘇原第一小学校屋内運動場

19年度予算の重点施策

「美しい都市 各務原へ」を推進

▼問 19年度一般会計予算の重点施策は。

▽答 「美しい都市 各務原へ」を推進するため、①家族の価値再復興②コミュニティ・地域力③良い教育・人づくり

市政を問う 一般質問

3月12日、13日の2日間、代表質問と一般質問が行われ、市政全般にわたって市の姿勢をたどしました。発言をした議員は次のとおりです。(発言順)
 「代表質問」浅野健司(維新の会)、小島軍司(翔政会)、関浩司(民主クラブ)、横山富士雄(市議会公明党)、永治明子(日本共産党各務原市議会議員団)、三和由紀(明政会)
 「一般質問」高島貴美子、吉岡健、横山隆一郎、波多野こうめ
 議員の質問および市長以下関係部長の答弁は次のとおりです。

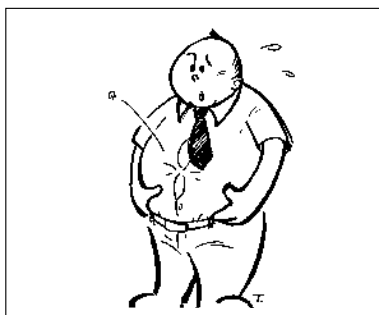
都市④美しい生活環境、都市風景⑤都市の中の自然⑥歴史の未来への継承⑦都市の文化、文化力の底上げ⑧全市民健康増進運動の8つの重点施策を柱に、対前年度比3.1%増となっており、県内21市の平均伸び率0.7%増を上回る4年連続で積増型予算を編成した。

当初予算規模としては、過去最大規模であり、未来への基盤投資事業は、補助事業の活用などの財源の確保により2.5%増となっている。

▼問 19年度一般会計予算の新規事業は。

▽答 ハード事業では、

各務保育所空調等設備整備事業、蘇原第一小学校屋内運動場改築事業、(仮称)山の前広場公園整備事業などであり、ソフト事業では、家族・地域・絆プロジェクト事業、内臓脂肪メタボリックシンドローム改善運動、産業振興ビジョン策定事業、2008年北京オリンピック男子ホッケー競技予選大会開催事業など57事業を予定している。



各種 イベント

▼問 各種イベントの実行委員会事務局を市で設置する意義は。

▽答 行政が各種団体のパイプ役となり、実行委員の企画段階からの積極的な参加を促進することが目的であり、各々の実行委員会が自立して活動していくことが望ましいと考える。

今後さらに、イベントが活性化する方向で努力していきたい。

▼問 行事・イベントが多すぎるのではないか。

▽答 18年1月から12月までの市のイベントは57件であり、市民・団体・行政との連携が図られ、イベントによるインフラの整備により、都市全体が活性化し、それが「美しい都市 各務原へ」につながると考える。

工業用地の 取得

▼問 長期間放置されている各務おがせ地区工業用地と北部ハイテクパーク用地を先行取得する必要があるのか。

▽答 各務おがせ工業用地は、進出企業の需要に対して分譲地が不足する時代背景にあつて、北部で開発が遅れている状況の中で計画され、昭和62年に取得したが、周辺土地が取得困難になり、開発を断念し、有効な土地利用や財源調達について検討を重ねてきた。

北部ハイテクパーク用地は、第三次総合計画で開発が計画され、平成2年から4年にかけて取得し、テクノプラザ1期、2期と事業化したが、3期事業を視野に工業団地としての土地利用を検討している。

水道料金値下げへ

今後の事業計画は

▼問 前回の11年度の水道料金の値上げ当時、83億円の事業を控えているという理由であったが、値下げ後の事業計画と推移は。

▽答 今回の見直しにより、11年度から23年度の13年間で約90億の事業費となる。

そのうち18年度末での実施済額は約51億円で、達成率は56・7%となり、順調に推移している。

今後、鉛給水管取替え、老朽化施設更新、地



水道庁舎監視盤

震対策、配水管網整備などの事業を継続して実施していくほか、命の水マスタートプランに伴う新たな事業を計画している。

災害対策関連では、鉛給水管取替えが22年度に完了する予定である。また、水道庁舎自家発電設備を19年度に、八木山配水池緊急遮断弁を20年度に設置予定のほか、配水管耐震化を順次進めていく。

▼問 4,000万円も投入している「命の水マスタートプラン」の内容は。

▽答 川島地区も含めた上水道の将来的な水需要に対応するため、現有施設の改修・更新により安定的な運用を図る計画を策定中である。

柱は①川島地区の水源地整備②三井水源地整備③(仮称)各務原大橋水管橋添架である。

なお、プラン策定にかかる委託費は1,785

万円となり、計画書は18年度末に完成予定である。

▼問 大きな経済事情の変化や不測の事態が生じない限り、今後の値上げは考えられないが、料金改定の考え方は。

▽答 今回の料金改定は、23年度までの5年間で算定期間とし、平均4・60%の値下げとなるが、5年後に一転して値上げをすることのないように経営努力を重ねていく。

▼問 現在ある借金の返済に対する考え方は。

▽答 9年度以降、すべての事業を借入金なしで実施してきた。その結果、8年度末に109億円あった企業債残高は、合併により引き継いだ川島分5億7千万円を含め、17年度末で74億円に減少した。

18年度は低金利の企業債への借換により1,920万円の利息削減ができた。

今後も借入金ゼロ体制の維持と借換などの制度活用により、企業債残高の減少と支払利息削減に

努めていく。

▼問 借金について、他の自治体と比べてどうか。

▽答 17年度末の長期借入金残高は約74億円で、給水人口一人あたりに換算すると5万334円である。県下49上水道事業での平均は6万7,900円で2割以上少ない額となっている。

下水道料金値上げ

▼問 下水道事業は、全国・県内でも整備が遅れており、市の財政体力もはっきりしているにもかかわらず、値上げする理由は。

▽答 下水道会計は独立採算制が原則である。

地方債の元利償還金が増加し、一般会計からの繰入金が増え続けることと、経費回収率が全国・県の平均を下回り、経営効率が低下していること

が理由である。

クリーンセンター

▼問 下水道の普及に伴い、生し尿は減少し、合併浄化槽の汚泥は増加している。クリーンセンターの処理状況は。

▽答 16年に改修をし、処理の効率性を10%アップさせた。17年度の年間処理量は49,540klであり、ここ数年は、横ばい状況である。

▼問 現在、川島地区のし尿については、岐阜羽島衛生施設組合の施設で処理されているが、クリーンセンターでの処理は可能か。

▽答 川島地区の処理分は市全体の処理量の4%程度である。

今後、公共下水道も普及し、川島地区分を加えても処理能力には問題ないと考える。

道路の 渋滞解消

▼問 (仮称) 各務原大橋架橋に伴う主要幹線道路の整備など、便利さに伴う交通渋滞緩和策についての考えは。

▼答 (仮称) 那加小網線は26年開通予定だが、20年度末には、市役所西のケヤキ通りを経て、川島三輪線に接続する南北幹線道路が完成する。交通量の増加が予想され、交通規制など公安委員会と協議し、安全対策・渋滞緩和策を行う。

▼問 イオン出店に伴う周辺道路の整備は。

▼答 現在、那加日新町で交差点改良やスチールロードの整備など局部的な改良を行っている。

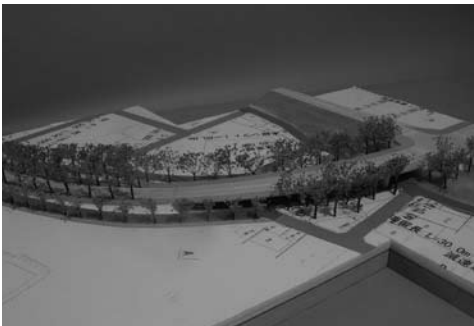
広域的には、日野岩地大野線を市西部の南北幹線道路として、早期着手されるよう、県へ強く要

望している。

▼問 那加メインロード再整備事業の意義と効果についての考えは。

▼答 市の中心道路であるが、歩道など縁石タイプや狭い部分、勾配が急な所があり、街路樹もふぞろいで景観が優れない。

那加まちづくりワークショップでも多くの意見が出されており、歩きたくなる道を目指し、歩道の拡幅やバリアフリー・統一した街路樹・車道の排水性舗装・電線の地中化などを検討するなど、緑豊かな潤いのある美しいメインストリートとなるよう整備する。



(仮称) 各務原大橋取付道路模型 (川島小網町)

旧鵜沼宿 まちづくり

▼問 旧鵜沼宿まちづくり事業について、住民説明会など具体的な動きがあるが進行状況は。

▼答 16年度から地域の皆さんと9回に及ぶワークショップや説明会を行い、風景形成などの合意形成を図っている。

18年度に、(仮称) 中山道鵜沼宿町屋館の用地を取得し、実施設計を完了した。

19年度には修復工事を実施し、脇本陣復元の実施設計などを予定している。

▼問 鵜沼宿再生後、鵜沼宿中山道の文化をどのように伝え発信していくのか。また、どう教育に活用していくのか。

▼答 現段階では、歴史遺産や生活食文化などの歴史街道探訪事業や(仮称) 鵜沼宿講座の開催の

ほか、小中学校の歴史体験学習資料としても有効に活用していきたいと考えている。

瞑想の森

▼問 現在、火葬件数を、1日に7件までとしているが、昨年末に関市に搬送された例もあり、7件を越す場合の対応についての考えは。

▼答 1日の平均火葬件数は3.5件であり、1日7件の日が月1回程度ある。

すべての時間帯に靈きゆう車を提供できるように1時間おきに1日7件の受け入れ体制で運営しており、8件以上の場合には、施設と連携をとりながら柔軟に対応していく。

今後、使用件数の増加などの状況を見極めながら、運営体制を必要に応じて見直していく。



瞑想の森墓地公園

▼問 市営墓地使用料を10万円から20万円に引き上げ、管理料も新たに年間2,000円徴収する理由は。また、これにより、民間墓地の値上げにつながるのか。

▼答 公園墓地「瞑想の森」整備を行い、あわせて225の墓を増設した。これを機会に8年度以降据え置いていた使用料を見直すもので、管理料についても、維持管理経費を市民負担の公平性や受益者負担の原則により負担していただくものである。

民営墓地の使用料の値上げにはつながらないと考える。

「家族の価値」再復興とは

心豊かな人間性などを再生

▼問 「家族の価値」再復興とは。

▽答 日本は、戦後ひたすら「経済大国への道」を進み、欧米諸国に追いついたが、個人主義、モノの豊かな生活と引き換えに喪失しつつある「心豊かな人間性」「家族・地域の絆」「市民道徳や公共心」「誇りに思える郷土」など、日本人が本来持ち合わせていた「美質」を再生させることが必要である。

家族の復興、再復興こそが、今この国にとって最も必要なことであり、これが「文化大国への道」づくり、「美しい都市 各務原へ」の始まりであると考えてる。

▼問 家族・地域・絆プロジェクト事業の中身は。

▽答 「家族の価値」再復興のための事業として、家族・地域・学校が何をすべきかを明確にするた

め、各小中学校・PTAや他の関係団体と連携して調査研究する事業と、「地域力」推進のための事業として、児童生徒が地域活動に関わることで、地域から学ぶことの重要性を認識させるための調査研究事業を新たに展開していく。

地域力の推進

▼問 地域力のさらなる向上の方法とは。

▽答 子どもたちの健康な心と身体、人間性を育むため、子育て世代の親、特に父親が参加しやすいよう家庭教育学級を休日や平日の夜に開催するなど、講座の内容をさらに工夫したい。

また、青少年育成市民



見まもり隊対面式(尾崎小学校)

会議やPTA、子ども会などの活動を充実させ、自治会や学校、各種団体との連携を図り、地域力・コミュニティの充実、向上を図るよう活動を進める。

学校給食費

▼問 学校給食費の未納の状況と対策は。

▽答 17年度未納者数は、約60人で全体の0.5%であり、金額にして

約160万円で全体の0.3%である。

学級担任などが、学校給食は保護者が負担する費用により成り立っていることなどを説明し、徴収に努力している。

ふれあいバス

▼問 ふれあいバスの位置づけは。

▽答 民間路線バスとの競合をできるだけ避け、公共交通機関の空白地帯、交通手段を持たない市民の足を確保することを運行目的としている。

▼問 ふれあいバス路線の見直しは。

▽答 最近の乗降調査では、ルートによって乗客の少ない路線や時間帯があり、より効果的な運行ができるよう19年度に向けて見直しを検討している。

また、道路や橋の新設



ふれあいバスが集結する市民会館バス停

など、交通環境に大きな変化があるときは、それに見合ったルート変更を考えていく。

▼問 「乗車人数が少なく」とバスの運行ができなくなる」と昨年12月の広報紙に掲載した意味は。

▽答 乗降調査の結果を踏まえ、一人でも多くの市民に乗ってもらえるよう現状を報告し、利用を訴えたものである。

▼問 バスの広告掲載の収益は。

▽答 昨年7月の時刻表印刷費が40万円で、広告料収入は10万円であった。

人づくり

▼問 人づくりとは。

▼答 人づくりプログラムとして、妊娠時から親の学びが始まり、義務教育までの期間を通して、親の学びと子の育ちの両面から、家庭・地域・学校・行政が互いにサポートし合いながら人づくりを推進していく。

▼問 良い教育とは。

▼答 「知・情・意・体」の調和のとれた心豊かでたくましい子を育成することだと考える。

知を育てるとは、「読み・書き・計算」を定着させ、それを生活に生かす知恵を育てることだと考える。

情を育てるとは、道徳教育で思いやりの心を中心に人間として必要な道徳性を育てることである。また、意志力を育てる

ために、夢や高い志を持ち、目標に向かって不断の努力をする子どもを育てたいと願っており、その一つの方法として、各務野立志塾を拡大して実施し、情と意の部分に力を入れることで、市の掲げる「美しい心」を育てたい。

テクノプラザ 分譲と開発

▼問 テクノプラザ2期分譲の状況と、3期の開発計画は。

▼答 17年度には5社で3区画を、18年度には19年2月現在で、6社で8区画を、面積にして48%が売却できた。

20年10月の完売をめどに、IT・バイオ・ロボット・ナノテクなどを対象企業に誘致を目指している。



テクノプラザ2期の分譲地

また、現在策定中の産業ビジョンにおいて、事業用地の確保を課題としており、テクノプラザ3期の開発時期、区域、採算性などを精査している。

商店街の 活性化

▼問 地域の商店街の具体的な活性化策は。

▼答 商店街の活性化については、ガヤガヤ会議などで話し合っている。

商店街が行う特色ある

ソフト事業への補助や、街路灯電気代への補助金交付に空き店舗分を算入するなど、魅力ある商店街づくりをバックアップしている。

美しい中心市街地の基盤づくりは、商店街に対する最大の活性化施策であり、今後も那加メインロードの整備などを進めたい。

農業政策

▼問 19年度の農業政策は。

▼答 農業の担い手といわれる認定農業者は48名で、農協と連携し、認定農業者研修を行うとともに、積極的な誘導を図るため、農地の貸借による利用集積や農作業の受委託を進めている。

岐阜中流用水事業は、20年4月から畑地帯が供用開始予定で、その面

積は、55haとなり、供用開始後は、特産のニンジンやカブラ・ハクサイなどの生産に大きな効果があると考えられる。

市内で生産された野菜は、農協を通じ、中京・北陸・京阪神などの市場向けと、市内のスーパの直販コーナーや朝市などで地元消費されるものがある。



鵜沼東部に広がる畑地帯

この街が好き

私は、この街が好きです。

生まれ育ち、環境に慣れていることもありすが、「子育て」現在進行形の中、他の市町村と比べてみても暮らしやすいと思います。時の流れと共に環境は便利に変化してきましたが、今後はどうなっていくのでしょうか。

二人の子どもに恵まれ、一人は今春、小学校を卒業し、中学入学と新世界へのスタートに胸膨らませていきます。一人はとにかく元気印でいっぱいスポーツ大好き少年。健康な心と身体に成長していてくれる姿は、とても嬉しいものです。

こんな嬉しい姿をみられるのは、主人をはじめ、近くにいる両親ら家族、見まもり隊を含む地域の方、学校の先生、友達。

多くの人たちに接していただけるおかげです。子どもらも遊んだり、お話ししたり、甘えたり、叱られたりと自然体で接することがいつでもできます。母である私もたくさんお喋りして、心のバラ



那加前洞新町
長尾利佳さん

ンスをとっていているように感じます。そうでないと、今頃、片寄った考えを子どもに押し付けていたことでしょうか。想像するだけでゾッとします。

我が家にとっては、「子育て」は前者の方々なしではありえません。

「ありがとう」

の感謝の一言に尽きます。さて、市政でも子育て

支援を各方面で充実を図る施策が次々と進められているようです。子ども館・保育所・学校を開放した未就園児対象の各イベント・三世代ふれあい・学童保育、昨年あたりから小学校区毎で地域子ども教室とあります。幼少年期を対象とした内容が確実に根を張り、基盤ができてきました。

仕事を持つ母親としては、この先にも目を向けてほしいです。

例えば、子ども館と地域子ども教室と学童保育の長所をすべて取り入れた空間はできないものではないでしょうか。できれば、小学校区に一つずつ。これは子どもたちの行動範囲だからです。ここは、学校の先生方も地域の大人も子どもも自由に出入りができ、安心して多くの人とふれあえる場が良いです。

また一歩進んだ支援を期待しています。

議会素描

▼元氣な各務原を象徴する事業が盛りだくさん。議員にも執行部にも緊張の中に元氣を感じる議会であった。

▼質問で不適切な発言があったと自らの発言を取り消し。

言論の府にふさわしい節度ある発言を議員一人ひとりが自覚しよう。

▼本会議場。

議員は、市長以下執行部と対面して着席。

質問者・答弁者も対面し

て発言。

質問を聞いている同僚議員の姿勢は市民にどう映っているのか。

▼傍聴者が少ない議会は寂しかった。

皆さん傍聴してください。

▼市民の関心事を念頭に紙面づくり。

編集委員の積極的、建設的意見で編集会議も白熱。

▼限られた行数で3月議会を紙面に表現、たくさん質問答弁に編集苦。

▼議会だより編集委員一同、議会の様子をわかりやすく伝える紙面づくりに努力します。

市議会を傍聴しましょう

次の定例会は、6月11日
開会予定です。

あなたも市議会を傍聴しませんか。
会議当日、午前9時30分から
市役所6階で受付しています。

詳しくは議会事務局総務課まで

